

2022年4月11日 第414号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 日比谷野音集會に1800人

ロシアは侵略をやめろ ウクライナから撤退を！
国際法違反は許さない！ 改憲、核共有、軍拡許すな！

総がかり行動実行委員会は4月8日夜、「ロシアは侵略をやめろ、ウクライナから撤退を！#0408 日比谷集會」を行い、1800人が参加しました。政党からは、社会民主党の新垣邦男衆議院議員、立憲民主党の鈴木庸介衆議院議員、日本共産党の小池晃参議院議員があいさつし、沖縄の風の伊波洋一参議院議員のメッセージが紹介されました。

主催者あいさつを総がかり行動実行委員会共同代表の小田川義和憲法共同センター共同代表が行い、「ロシアの蛮行を見て、私たちが行動に立ちあがらないわけではない。国際法違反であり、許されない。敵基地攻撃能力保有、アメリカの核の共有、非核三原則の見直しなど政治が不当に煽っている。改憲、核保有、軍拡を認めさせないため、力を合わせよう。参議院選挙では、改憲派を3分の2割れに追い込もう」と呼びかけました。



KNOW NUKES TOKYO共同代表の中村涼香さんは、「長崎出身で、核はいけなもの」と捉えてきた。核が使用されてしまえば、誰も助けに入れない。国家は、核兵器を使用しないように模索すべきであり、それを放棄するなど許せない」と訴えました。

改憲問題対策法律家6団体連絡会の太田広太弁護士は、「憲法前文は、全世界の国民の平和的生存権を保障しているが、ウクライナでは守られていない。ウクライナ侵攻で、核共有の話が出ているが許すことはできない。憲法審査会が開催されているが、憲法を守らない政権に議論する資格はない」と批判しました。

ベリス・メルセス宣教修道女会の弘田しずえシスターは、プーチンとロシア正教の関係や人権は普遍的であることなどについて述べ、ロシアと暗黒主義について批判しました。

ピースボート災害支援センターの上島安裕さんは、ウクライナからの難民支援のためにルーマニアに入ったことについてリアルに話しました。

総がかり行動実行委員会共同代表の藤本泰成さんが行動提起を行い、集会后、銀座をアピール行進しました。

「戦争は絶対反対」「9条は絶対に変えちゃダメ」 東京・茗荷谷駅で宣伝



憲法共同センター「とりくみ集中月間」の4月8日昼、地下鉄茗荷谷駅前、全商連、農民連、新婦人が共同で宣伝行動を行い、19人が参加しました。憲法改悪を許さない全国署名は10人の方から寄せられました(核兵器禁止条約批准署名は9人)。

入学式帰りの中高校生が関心を寄せ、チラシを受け取っていきました。署名した方との対話では、70代の女性は「9条のある国を攻めたら世界中から非難されるから、日本はウクライナのようにはならない。

絶対に替えちゃダメ」、80代の女性は「戦争で食べ物がなく、左手にはしを持って食事をさせられた。戦争は絶対反対。ウクライナが破壊尽くされて子どもたちが心配。こんなときに『核兵器を持って』なんて言う安倍さんは怖い」、小学生を連れてきた女性は「憲法は変える必要ないし、軍拡は反対。ウクライナの戦争を早く止めたい」と。「ロシアのひどさを見て、初めて武力も必要かと揺れている。どうしたらロシアをやめさせられるか」という60代ぐらいの女性とは憲法リーフを広げ、「9条は理想か」「国連は機能していないか」などの対話になりました。

いまこそ対話が必要と感じる行動でした。

●当面の行動

- 4月19日(火) 総がかり「19日行動」 18時30分～ 国会議員会館前
- 4月21日(木) 総がかり 署名宣伝 18時～ 新宿駅西口
- 4月23日(土) 憲法集会宣伝 14時～ 有楽町イトシア前
- 4月28日(木) 総がかり ウィメンズアクション 18時～ 有楽町イトシア前
- 5月3日(火) 5・3憲法集会 11時～12時30分 サブステージ
12時30分 オープニング
13時 開会
14時30分 パレード開始

<http://kenpou2020.jp/information/2022/>

<http://sogakari.com/?p=5878>